



全国スキー協通信

〒170-0013 東京都豊島区東池袋 2-39-2 大住ビル 402 TEL 03-3971-4145

URL <http://www.mmjp.or.jp/wsaj> e-mail wsaj@post.email.ne.jp

2017年7月1日 No.445 発行責任者 小川洋 編集 芦村憲一

【郵便振込み】口座番号：00180-7-82138 加入者名：全国勤労者スキー協議会

6月10、11日全国代表者会議開く 50周年に向けて活動を展開



全国スキー協第30期代表者会議は6月10～11日の日程で、東京・帝京平成大学池袋キャンパス内集会室で開催されました。

北は北海道から南は九州・福岡まで21都道府県から32人の代表者と、全国役員16人（会長、副会長、理事長、事務局長、常任理事、専門部長、会計監査）、総勢46人が参加して、第30期前半の総括と、後半1年間の活動方針について論議しました。

冒頭、栗岩会長から今シーズン、雪崩やスキー場での事故・怪我についてスキーマイト170号に掲載されている「ニセコルール」の内容や、2020東京オリンピックに触れたあいさつがありました。引き続いて小川理事長が議案説明を行いました。

議案説明ではスキー関連の情勢に触れた後「1. 組織拡大の取り組み」「2. 『会員アンケート』の取り組み」「3. 50周年について」「4. 現役スキーヤーを応援しよう」「5. 常設スキー学校開催にむけて」の順で報告・提案を行い、その後に各専門部からの報告と提案がされました。

全会員を対象にしたアンケート調査はすべての都道府県組織からの回収は出来ませんでしたが、約2,800人いる会員1,372人から頂きました（回収率49%）。アンケートの分析については報告の中で概要を説明しましたが、詳しい分析はこれから何回かに分けて「全国スキー協通信」や「スキーマイト」等に掲載させていきたいと思えます。

概要にふれてみますと、①組織の中心は60～70歳代の男女で、男性ではクラブに入会してから30年以上、女性はクラブ入会1～5年未満。②取り組んでいる、もしくは取り組んでみたい分野は1位＝深雪、2位＝山スキー、3位＝アルペン競技となっていますが、全体的にはネイチャー志向が強く見受けられます。③技術レベルでは「中級者」と回答、という結果が出ています。

また、問3でクラブに加入した理由は「スキー、スノーボードが上達したかった」というのが圧倒的に多くありました。問5であなたの加入しているクラブの良い所は、の設問では「上下関係が無く民主的な運営がされていてクラブ会員を大切にしている」が1位となっていて、「スキー・スノーボードが上達できる」は2位となっています。必ずしも会員の技術向上の要求に応えきれていないのではないのでしょうか？どうですかね？

50周年記念行事についてはウィークの開催場所を「キューピットバレー」（新潟県上越市）とし、日程は2019年3月1日（金）～10日（日）と決定しました。

（2面へつづく）

(1面からのつづき)

会議1日目の議事終了後に「第2回実行委員会」を開催し、ウェアの提案や具体的な行事内容を検討して、2日目に報告を行いました。ウェアについては2017年11月の全国理事会に素材・デザイン等を提案し、注文を取り始め、製作することを確認しました。

競技部からは18シーズンのスキー協CUPの会場として、50周年ウィークを開催する「キューピットバレー」を提案し、承認されました。全国大会については慎重に検討した結果、残念ながら東海ブロック主管ではなくて、全国スキー協主管で戸狩温泉スキー場での開催となりました。

2日間の討議の中では、50周年ウェアに対する意見、スキー教程の改訂に対する意見と合わせて、民主的な運営を心掛けてほしいとのご意見、組織拡大目標にたいする厳しい意見、「スキーリーダーテキスト」ならびに「スキーを安全に」冊子のリニューアルの要望、競技大会とは別に全国規模で何年かに1度は全国祭典を開催して欲しい等々の意見がありました。

また、「名誉指導員」の位置づけをSAJの「功労指導員」のような扱いにしてほしいとのご意見がありました。組織拡大のPTを立ち上げ、会員拡大の方向性を示して欲しい旨の発言もありました。

来年の第31回総会に向けて、頂いたご意見を参考にしながら、後半1年の活動を組織的前進の中で50周年事業に向けた活動を展開していくことを確認して全国代表者会議は終了しました。(理事長 小川洋)

都道府県スキー協・直接加入クラブ各位様

全国スキー協50年史編さんへのお願い(抜粋)

全国スキー協が結成されてから2019年2月で50周年を迎えます。この50周年にあたって全国スキー協の50年の歴史を作ってくれた各スキー協をはじめ、多くの方々に登場して頂いて、「50年史」を作成することになりました。

この「50年史」の取り組みは、全国の方々にご協力をいただくこととなります。そのため、原稿を依頼された方々は文章の正確性を期すことなどを考えますと、短期間に集めることはなかなか難しいと思いき、早めの取り組みにしたいと考えております。そこで、原稿をご依頼する方々には今から準備していただくようご依頼申し上げる次第です。

《ご依頼のテーマ》

都道府県スキー協の結成から全国スキー協との関わりなどについて、この機会にそれぞれの都道府県スキー協の歴史をまとめるようなものにしていただければ幸いです。

1. 創立年月日
2. 創立当時のエピソード、クラブ数
3. 創立から現在までの取り組み概要、特徴的な活動など
4. これまでの活動に関わった人々(女性の活動にも触れて)
 - ・原稿はA4、ワード、明朝、1400字以内。必ずPCメールで送付のこと。
 - ・締め切り・スノーシーズンイン前の2017年11月末日とします。

2017年5月吉日 全国勤労者スキー協議会 50年史編集委員会

◇編集後記◇

- ◎今回の全国代表者会議では、国民平和大行進・東京一広島コースの通し行進に、滋賀スキー協の西田重好さんが歩いていると紹介しました。参加費用は自己負担と聞きましたので、通し行進費用の一助にと代表者会議の参加のみなさんに呼びかけて募金をいただき、滋賀スキー協会長・多賀さんに手渡しました。
- ◎スキーメイト170号が発行され、連載「栗岩会長対談」が好評です。しかし、メイトの減誌傾向が続いています。代表者会議で伊藤みどりスキーメイト局長が「現在スキーメイトは、これまでの蓄財を切り崩して発行しており、このままだと数年後には廃刊の事態に」と、警鐘を鳴らしました。まずは1クラブで1部増を(純増です)。
- ◎50周年記念ウェア作製では議論百出、熱く論議。うまくまとまれば良いのだが…。50年史編集委は5回開催し、こちらも熱く論議中。50年史の目玉は「都道府県の歴史」だと思うのだが、締め切り期日までに原稿が届くことを祈って。(S・U)

群馬スキー協 丸沼プラスノーのお知らせ

6月吉日 群馬スキー協会長 荻原正治

オフシーズンもスキーがしたいと思っているあなたへ。丸沼プラスノー講習会に参加してみませんか？

雪のような滑走性や爽快感は及びませんが、スキーで滑ることは同じです。滑走性が劣る分、丁寧に滑ることができるので、基本技術をしっかり身につけるには大変効果があります。

特にプラスノーは横ずれするとずれを止めにくい、しっかり角付けすればエッジがブラシに食い込みカービング性能が発揮しやすいという特性があるので、カービング技術を習得するには効果絶大です。

サマーゲレンデはいろいろありますが、中でも丸沼は一番滑りやすく安全だと評判です。私は毎年、丸沼のサマーゲレンデのシーズン券を購入して滑っていますので、一緒に滑ってくれる方にはスキー協の会員に限り無料レッスンを行います。

なお、スキー協会外の方の講習料は1日1,000円とさせていただきます。

また、昨年からスキー場の好意で、たとえ講習生が1人でもリフト代の団体割引を適応してくれることになりましたのでリフト券を先に購入しないでお待ちください。

講習日は以下のとおり。その他の講習日を希望される場合はその日を休日にあてるよう調整しますので、勤務の調整をしなければならないので、1カ月前までにご連絡ください。

この企画は群馬スキー協の行事として開催しますので、行事参加費1人200円/日を徴収させていただきます。

◇講習予定日

7月 19日(水) 23日(日) 26日(水) 26日(土)
8月 2日(水) 9日(水) 16日(水) 19日(土) 23日(水) 26日(土) 27日(日)
9月 3日(日) 7日(木) 16日(土) 17日(日) 23日(土) 25日(月) 30日(土)
10月 3日(月) 9日(日) 10日(月) 22日(土) 23日(日)

- ・現地集合の場合 リフト乗り場横広場 9:00
- ・前橋から乗り合わせで行く場合 事務局 6:30 or 吉岡温泉道の駅 6:45 出発
- ・講習時間 9:30～11:30 12:30～14:30
- ・連絡先 荻原正治まで(携帯:090-7185-3468、email:ogiwara-ma@jcom.home.ne.jp)

全国代表者会議議案から抜粋

「購読部数 2,500 部」安定的な発行を！

1クラブで1部増を目指し、今期中に2,000人の読者を！

現在、機関紙「スキーメイト」の発行部数は1,800部を割っています。購読者増の県、クラブもありますが、残念ながら減誌の数が上回っています。

「スキーメイト」は私たちスキー協の身近な会員やクラブ、各地の動向などが誌面に掲載され、全国スキー協会を繋いでいる唯一の機関誌であり、商業誌にはない良さもあると思います。

都道府県やクラブでは機関紙やニュースなどを発行し、会員に行事募集、各種情報提供を行っていると思います。もし、その機関紙やニュースなどが発行されなくなったら…と考えてみてください。「スキーメイト」も同じではないでしょうか。

★半額キャンペーンを継続、1クラブ1部増を！

「スキーメイト」は引き続き購読料半額キャンペーンを行っています。購読料1000円の半額500円がクラブに還元されてクラブ財政が豊かになります。

この機会を利用して、新会員になった方々はもとより、まだ一度も「スキーメイト」を手にとったことがない会員に購読を呼びかけましょう。まずは、1クラブで1部ずつ増やすことを目標にがんばってみてください。たった1部と思うかもしれませんが、その1部からが始まりです。

★廃刊の危機を避けましょう！

現在、発行経費を購読料だけで賄うことはできず、今までの蓄財を切り崩して発行しています。このままですと数年後には廃刊という事態に陥ることになるかもしれません。そうならないためにも、ぜひ、読者を増やす呼びかけをお願いします。

★要望や情報の提供を待っています！

「スキーメイト」は会員みんなで作り上げる機関紙です。会員の声に耳を傾ける誌面づくりをしたいと思いますので、「こんなことが載っていたらいいな」「あんなこと知りたいな」「こんな企画いいな」など、話題や情報の提供などをよろしくをお願いします。

スキーメイト

山・アルペン・ボード
人と人の心をつなぐ
スノースポーツの
専門誌

スキー協
ならではの
企画特集が
大好評!

仲間増やし リスペクト
キャンペーン中

新読者にもクラブにも **2** 大特典

- 1 スキーメイト年間購読料（年間5号分）が半額【2,000円→1,000円】になります。
- 2 増やしたクラブには新読者1人につき「500円」が還元されます。



170号「スポーツ文化でリスペクトを確認」新谷暁生さんとの会長対談特集 →



← 169号「大ケガをしても復活できる」スノーボーダー金子敦さんとの会長対談特集



申し込み書

月 日

個人直送
以外は
必ず

都道府県スキー協 & 全国スキー協へ申請を

■新読者のお名前

■定期購読の開始 No. 号 ~ No. 号まで

■新読者の住所と連絡先 〒

tel

■所属スキー協とクラブ名

*所属クラブなし

■すすめていただいた方のクラブ名と連絡先

■配布方法 県スキー協から配送 クラブから手渡し

■全国から直送希望

「全国から直送」ご希望の場合の配送先住所と連絡先（できればメールも記載）